

所属名 カリキュラムセンター	研究会議名 外国語科研究会議
研究主題	外国語科における小中連携の在り方に関する研究
資質・能力 育成を目指す	簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力
研究内容	<p>学習指導要領では、小学校において、「コミュニケーションを図る素地となる資質・能力（外国語活動）」「コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力（外国語）」を育成し、さらに中学校において、「コミュニケーションを図る資質・能力」を育成することが目指され、小学校・中学校が連携した英語教育の在り方が求められている。しかし、令和元年度英語教育実施状況調査によれば、外国語教育において、カリキュラム面で連携を実施している学校は全国で17.7%に留まり、外国語教育において小中連携は大きな課題となっている。</p> <p>本研究会議では、技能別の到達目標を示した CAN-DO リストの川崎市スタンダード版を作成し、それを基に各校が CAN-DO リストの整備を進め、小学校3年生から中学校3年生まで、それぞれの学年で育成すべき資質・能力を明確にし、外国語教育におけるカリキュラム連携を推進することをねらいとする。そして、CAN-DO リストを通じたカリキュラム連携の方法だけでなく、小学校教材の中学校授業での活用方法、文字学習における連携方法など、その他の小中連携を推進する手立て及びその効果についても研究する。</p>